

再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：高松 諭

事業名	高規格ICアクセス 主要地方道 土浦竜ヶ崎線	事業区分	地方道	事業主体	茨城県
起終点	自：茨城県阿見町美穀 至：茨城県牛久市岡見町			延長	3.9 km
事業概要					
<p>主要地方道土浦竜ヶ崎線は土浦市と龍ヶ崎市を結ぶ主要な幹線道路であるとともに、圏央道牛久阿見インターチェンジのアクセス道路としても重要な路線である。</p> <p>本事業は牛久市内の住宅団地の開発に伴う交通渋滞の緩和及び圏央道ICへのアクセス向上による地域の活性化を目的とし、延長約3.9 kmを整備するものである。</p>					
H8年度事業化		H8年度都市計画決定		H30年度用地着手	
H30年度工事着手					
全体事業費	約4.1億円	事業進捗率	約49%	供用済延長	1.9 km
計画交通量	21,100台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 3.1 (残事業) 8.9	(残事業)/(事業全体) 15/41億円 事業費：14/38億円 維持管理費：1.6/3.0億円	(残事業)/(事業全体) 137/128億円 走行時間短縮便益：113/109億円 走行経費減少便益：19/13億円 交通事故減少便益：5.1/5.8億円	令和4年	
感度分析の結果					
<p>(事業全体) 交通量：B/C=2.8~3.5 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=8.0~9.8 (交通量±10%) 事業費：B/C=3.0~3.3 (事業費±10%) 事業費：B/C=8.2~9.8 (事業費±10%) 事業期間：B/C=2.9~3.2 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=8.2~9.4 (事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> 圏央道の4車線化が令和8年度までの開通を目標に進められているところであり、今後、圏央道を利用する交通がさらに増加することが予想されるため、交通需要への対応を図る。 圏央道や近隣の工業団地へのアクセス向上により、競争力強化や産業振興が図られる。 牛久市内の住宅団地や龍ヶ崎市街地から圏央道へのアクセス向上による周辺道路の渋滞緩和を図る。 緊急輸送道路として、災害時における広域的な道路ネットワークとの連携が強化され、防災拠点間のアクセス性が向上し、地域の防災力が強化される。 					
関係する地方公共団体等の意見					
<ul style="list-style-type: none"> 都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている 地元市町村の阿見町から広域的な道路ネットワークの構築、安全性確保の観点から整備要望を受けている。 					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
周辺環境等に特に変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率約79%、事業進捗率約49%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
用地の取得に努めるとともに、早期完了を目指し、工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
残土について他の公共事業への流用による事業費削減を検討するなどコスト縮減に努める。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

